



高山本線全線開通80周年記念誘客事業



無料Wi-Fi環境の整備



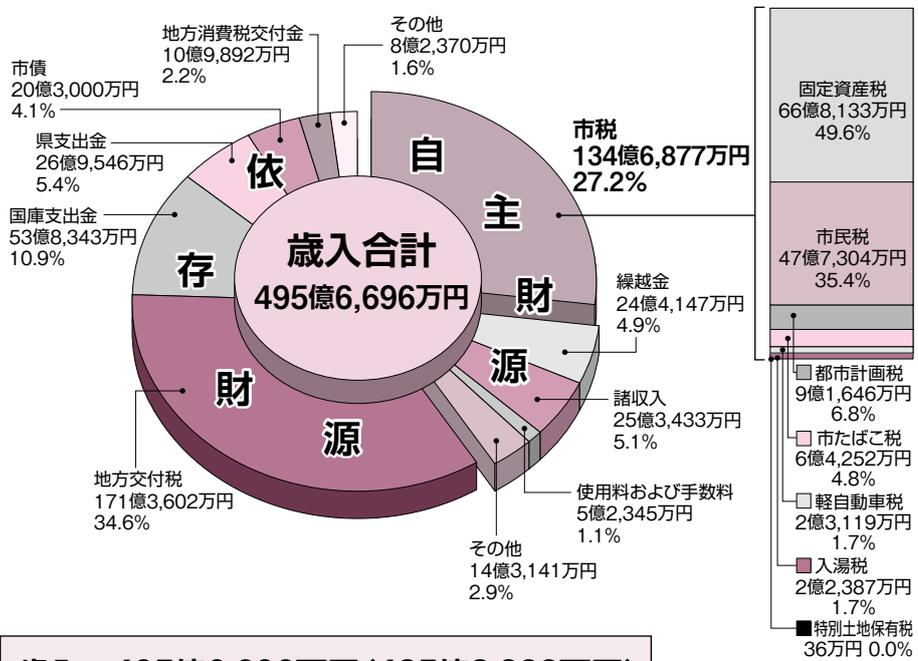
クリーンエネルギー自動車の普及

平成26年度

決算報告

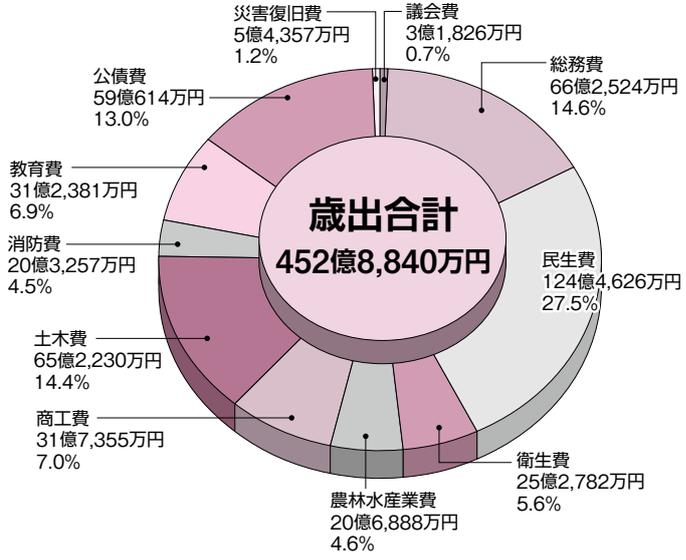
市の家計簿ともいえる平成26年度の各会計の決算がまとまりました。皆様から納められた税金や、国県からの補助金などがどのくらいあり、何に使われたのか紹介します。

歳入(入ったお金)と歳出(使ったお金)の内訳【一般会計】



歳入 ■ 495億6,696万円 (485億8,233万円)
歳出 ■ 452億8,840万円 (445億4,086万円)
 ※ () は平成25年度決算

平成26年度一般会計決算は、市民協働による魅力・活力にあふれるまちづくりに向けて、協働のまちづくりモデル事業に対する助成を行ったほか、クリーンエネルギー自動車の普及など環境政策の一層の推進、飛騨春慶弦楽器を活用した文化芸術の情報発信、平和に対する意識の普及啓発、無料Wi-Fi環境の整備、豪雨災害等からの早期復旧など、総額452億8,840万円を支出し、翌年度への繰越財源16億7,598万円を除いた実質収支は26億2,599万円の黒字となりました。



決算にみる市の財政状況

● 財政力指数

財政基盤の強さを表す指標で、基準値を1として、1を超えるほど財政力が強い(豊かである)といえるものです。

高山市は合併直後0.48になりましたが、平成26年度は0.53でした。

Topic 財政の用語

- 自主財源** 市が自らの手で徴収、または収納できる財源。市税、使用料、手数料、寄附金などがあります。
- 依存財源** 収入にあたって国や県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。
- 地方交付税** 地方公共団体が等しく合理的かつ妥当な水準で事務を遂行し、財産を管理することができるように、市の財政力に応じて国が交付します。
- 市債** 市がする借金のことで、大規模事業を行う場合、大きな動きをします。